

S造用

委員会提出資料について

1. 委員会提出資料の種類等は下記の表によって作成してください。
2. 補強図はA3で作成して綴じてください。A1又はA2図面の縮小版でも良いですが、文字及び図面の判読が出来るようにして下さい。
3. 頁番号は部会時のものは残しておいても可ですが、わかりやすい場所に連番で頁を追加してください。

資料の種類	備 考
表紙	
耐震診断結果概要 又は、耐震改修計画概要	書式は最新版を採用すること。
概要裏面	建物の特徴が理解出来る代表的な階の梁伏図と軸組図（ゾーニング図、補強位置図兼用）、主要な補強部材リストを添付する。原則A4サイズ1枚にまとめること。
配置図	EXP. Jの間隔及び変位角を記入。 対象建築物が識別出来るように太枠・ハッチ等に表示する。
意匠図	各階平面図・立面図・その他（ ）
構造図	各階伏図・軸組図・部材リスト（柱・梁・壁等の主要な部分） ・その他（ ）
写真（カラー）	建物の外観、内観が理解出来るように1頁にまとめる。
建物調査結果と細部写真 （カラー）	主要な実態調査図及び細部写真、不具合部写真・調査結果一覧をまとめる。その他（ ）
診断方針	診断方針を簡潔に記載する。
既存建物のメカニズム時の 応力図	各方向の主な架構の部材耐力図（表）及びメカニズム時応力図 （ヒンジ位置及び決定要因の分かるもの）
〃 の耐震診断結果	各方向の主な架構の耐震性能算定（ E_o 、 I_s 、 q 値の算定結果）
※ 補強方針	補強方法選定根拠を簡潔に記載する。
※ 既存建物のメカニズム時の 応力図	既存建物に同じ。
※ 〃 の耐震診断結果表	各方向の主な架構の耐震性能算定（ E_o 、 I_s 、 q 値の算定結果）
総合所見	建物の特徴、現地調査結果の内容、既存建物の耐震性能及び I_s の決定要因、※補強策定の根拠、※補強建物の耐震性能及び I_s の決定要因を簡潔に表記する。
※ 補強設計図	補強位置の理解出来る各階伏図、軸組図、代表的な補強部材寸法及び納まりの理解出来る詳細図
特殊部分の検討	片持ち梁・塔屋・外部階段・CB・その他の特殊部分で特に説明を要するものが有る場合に添付する。
部会の要求資料・議事録	部会時に特に必要とされた資料及び議事録を添付する。
その他	委員会提出資料は、建物の形状、現地調査結果及び不具合部分、既存建物の耐震性能、補強建物の耐震性能、補強方法等が理解出来るものとし、資料枚数は出来る限り少なくまとめる。（両面コピー可。） また、部会に提出した報告書一式（修正後）を1部提出する。